

6/14 木

子どもの風邪 GW後急増

子どもの風邪が急増しています。新型コロナウイルスは大型連休明けに感染症法上の5類に移行しましたが、国立感染症研究所によると、夏風邪のヘルパンギーナの患者数は移行前の6・7倍以上になります。夏から秋に流行するRSウイルスも2・1倍に増加。新型コロナ下での感染対策で流行が一部止められ、免疫が低下したのが要因かもしれません。

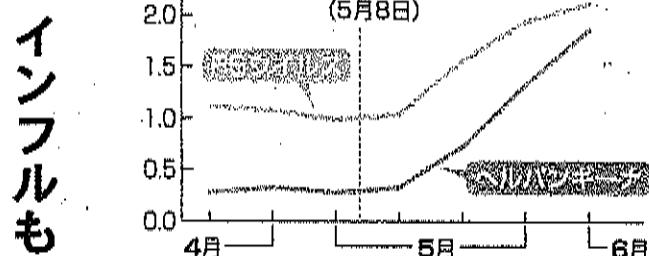
感染症の13日の発表によると、4月までの1週間に

全国約3000の小児科から報告された患者数は、ヘルパンギーナが1定医療機関当たり1・87人、RSウイルスが同2・12人。連休中の1週間（5月1～7日）はそれぞれ0・28人と0・99人で、いずれも4週連続で増えました。新型コロナの流行が始まった2020～22年の同時期比でも最も多く、和歌山（5・13人）や奈良（4・35人）も目立ちます。

免疫低下が要因か

に注意が必要。都道府県別の患者数は、富崎（8・78人）が最多で、富山（4・69人）や佐賀（4・65人）が続きます。RSウイルスは、発熱や腹水といった風邪の症状が出ますが、乳幼児が初感染すると肺炎などになります。患者数は山口（6・02人）が最も多く、和歌山（5・13人）や奈良（4・35人）も目立ちます。

いずれも飛沫（ひまつ）や接触で感染します。新型コロナ下で手洗いマスク着用や手洗いを徹底した結果、流行は一部と止まる



	主な症状	子どもでの注意点
ヘルパンギーナ	発熱や喉の粘膜に表れる水ぶくれ	喉が痛くて飲食を嫌がるため、脱水症状を起こしやすい
RSウイルス	発熱や腹水、せき	乳幼児が初感染すると肺炎や細気管支炎になりやすい

国立感染症研究所の資料などを基に作成

インフルも流行中

インフルエンザも流行中です。感染症によると、4月までの1週間の患者数は定額当たり1・52人で、流行の自安（1人）を上回ります。

長崎大学の森内道義教授（小児科学）は「子どもは本来、ヘルパンギーナなどいろいろな感染症に繰り返しかかる」とで免疫を得る必要があります」と指摘。一方で「様子が普段と異なる時はかかりつけ医に相談し、容体が悪化したのですぐに救急車を呼んでほしい。どんな風邪でもあれど重い合併症を引き起こす」とも

あります。

ヘルパンギーナは発熱や喉の痛みが主な症状で、飲食を嫌がる場合は脱水症状

が続きます。

いずれも飛沫（ひまつ）や接触で感染します。新型コロナ下で手洗いマスク

着用や手洗いを徹底した結果、流行は一部と止まる

一方で免疫が低下し、拡大しています。

しやすくなったりとされま

す。今年は、例年に広がる

インフルエンザも流行中です。感染症によると、4月までの1週間の患者数は定額当たり1・52人で、流行の自安（1人）を上回ります。

長崎大学の森内道義教授（小児科学）は「子どもは本来、ヘルパンギーナなどいろいろな感染症に繰り返しかかる」とで免疫を得る必要があります」と指摘。一方で「様子が普段と異なる時はかかりつけ医に相談し、容体が悪化したのですぐに救急車を呼んでほしい。どんな風邪でもあれど重い合併症を引き起こす」とも

あります。

ヘルパンギーナは発熱や喉の痛みが主な症状で、飲食を嫌がる場合は脱水症状

が続きます。

いずれも飛沫（ひまつ）や接触で感染します。新型コロナ下で手洗いマスク

着用や手洗いを徹底した結果、流行は一部と止まる

一方で免疫が低下し、拡大しています。

しやすくなったりとされま

す。今年は、例年に広がる